

# シャイン

## — 受講のきっかけと今 —

シャイン 020号

### 傾聴の奥深さを知った養成講座

#### 原田 篤さん

会社名：理想科学工業株式会社 所属：人事部人事課

資格：シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、ハラスメント防止  
コンサルタント、障害者職業生活相談員、メンタルヘルス検定 I 種合格



#### 【受講のきっかけ】

開発部門でエンジニアを 10 年近く務め、その後人事部へと異動になりました。労務対応については、人事関係のセミナーで学びながら試行錯誤にてこなしてはいましたが、相手に負担を与えないためには面談も短い時間のほうが良いと思い込むなど、メンタル対応のイロハも身につけておらず、今から思えば実に自己流で事務的な対応だったのではないかと反省しきりです。

これではいけないと思い、産業カウンセラーの養成講座（通信制）を受講することにしました。テキストの内容は新鮮な情報が満載で興味深く学習を進めることができましたが、土日を使っての実技研修は、初めのうちは結構な負担感がありました。しかしロールプレイングの時間も 10 分、20 分、50 分と時間を増やしつつ何回も経験していくことで傾聴の奥深さを知ることができたと思います。

#### 【資格取得後の活動状況】

資格取得当時は人事課長の役職でもあったので、クライアントに不利な利害関係が成り立たないよう「多重関係の回避」に特に留意しました。具体的には、面談を行うにあたって予め、社員に自分の立場を説明。メンタルの相談ときにはカウンセラーとして傾聴に徹し、また、復職支援等の時には人事課長として種々のアドバイスをを行う等、しっかりと頭を切り替え、また相手にも信頼してもらえるように努めました。すると驚いたこと

に、面談をした社員から面談のお礼や出張面談の気遣い等のメールを受け取ったり、残念ながら最終的に退職となった社員からも対応のお礼の手紙や電話を受け取ったり。資格取得前とは違った反応に、養成講座で学べたことに感謝し、また傾聴の大切さを実感しました。これらのことは私にとって大きな驚きでもあり、大変な労務対応を行ううえでの励ましにもなりました。

メンタル不全になるケースは、病的な理由であったり、健康上の不安であったり、また環境適応の問題であったりと様々です。いろいろな角度からアプローチする必要があります。そのためには自己研鑽は欠かせません。その後の対応する業務の広がりとともに、キャリアコンサルタント、ハラスメント防止コンサルタントなどの資格もとり、総合的に社員をサポートできるように努めています。

ちなみに自分自身のストレス解消ですが趣味のパンの手作りを楽しんでいます。休暇を利用して今までにフランスやイタリアへ、短期間ではありますがパン作りの修行に行ってきました。（写真）

さて、メンタル不全に関しては、医学上ある一定の発症率があるのでゼロにするのは難しいといわれますが、その発生がすこしでも少なくなるように、そして、メンタル不全からの復職者がすこしでも多くなるように、今度も活動を続けていきたいと思っています。